

馬場ひでゆきの活動日誌

No.44

上越地域振興局をご存じですか。振興局は、県庁の事務作業を地域で実施するために、各地域に設置されている「出張所」です。「出先機関」とも呼ばれています。

新潟県は面積が広いので、12の地域振興局があります。上越地域振興局もその一つで、上越市と妙高市を所管しています。

11月19日、同振興局やその他の関係機関と県議会議員との間で意見交換がなされました。

各機関からの報告で、上越地域の実情がわかりました。

※ ※ ※

●投資勧誘SNS詐欺が増加

上越警察署からは、同警察署管内でSNSのロマンス型、投資勧誘型詐欺が増加傾向にあるとの報告がありました。令和6年度は5件で被害合計額が6600万円とのことでした。他の特殊詐欺事件に比較しても1件あたりの被害金額が大きいことが特徴です。

私の事務所でも、投資勧誘型

詐欺について2件の相談がありました。犯罪者の特定ができず、警察が検挙することも、被害金を回収することも困難です。とにかく、知らない者からの金の話には絶対のらないことが重要です。

●大規模圃場整備広がる

上越地域では、昭和40年代に耕地整理がされましたが、区画が狭小なため最近の大型機械の導入が困難でした。

今回の圃場整備事業では、1区画1haの大区画圃場を整備し、これに対応した大型機械の導入やスマート農業（自動給水栓装置の設置など）が可能になります。

●看護大卒業生が県外流出

新潟県立看護大学の報告からは、入学者の大半は県内学生がほとんどなのに、就職をした卒業生のうちの52%が県外に就職していることがわかりました。

せっかく、地元の大学で学んでもらったのに、多くの学生が県外を選択してしまっているのは残念なことです。

同大学の説明によれば、卒業生には研修が充実していたり、専門性の高い病院でスキルを高めたという要求があるとのこと。県内病院も受け皿体制を作るべきです。

●今年はクマに要注意！

令和6年度のツキノワグマによる人身被害は同振興局管内で2件、2名が受傷した（命には別状なし）とのことでした。今秋はエサとなるブナが全県で不作、クマがエサを求めて人里に多く出没する可能性があります。県は、重点対象地域を指定し、藪刈払いの提案、クマ出没対応訓練を実施しました。今年はク

マに要注意です。

●笹ヶ峰ダムの堆砂

笹ヶ峰ダムでは近年の異常気象による豪雨などで土砂が堆積、全体の容量の1割程度に達しているとの報告がありました。

県は、国と土砂の排出方法を議論しているとのことでした。豪雨はいつ発生起きるのか予測が付きません。下流住民からはダム決壊による水害の発生を懸念している、との声も出ており、早急な対策が望まれます。



笹ヶ峰の高台から乙見湖を望む。この下に砂が堆積しているんですね。

12月定例会始まる

県議会の年内最後の12月定例会（議会）が12月3日から始まります。詳細は随時報告します

12月定例会（議会）日程

12月3日	火	午後1時～	本会議（開会）
12月5日	木	午前10時～	本会議 代表質問
12月6日	金	午前10時～	本会議 一般質問
12月9日	月	午前10時～	本会議 一般質問
12月10日	火	午前10時～	常任委員会
12月11日	水	午前10時～	常任委員会
12月12日	木	午前10時～	常任委員会
12月17日	火	午前10時～	連合委員会
12月20日	金	午前10時～	常任委員会 採決
12月23日	月	午後1時～	本会議 採決 閉会

コーシ
Break

「議員になってよかったですか？」と聞かれることが多くなりました。そろそろ任期4年の折り返しに近づいていることもあるし、もしかしたら

時折疲れた表情を見せてしまっているからかもしれません(苦笑)。大変ですが、よかったです、というのが正直な回答です。

弁護士の仕事では、外に出なくてもお客さんに事務所に来てもらっていました。もちろん、敷居は低くしていましたが。

議員になってからは、事務所の敷居を超えて外に出て人のお話を聞いたり勉強したりしなければなりません。時間のやりくりで大変ですが、世界がすごく広がりました。

それから、議会では論戦をします。自説に対する反対意見もしっかり勉強して発言しないと説得力がありません。自説に説得力があるのかないのかは、周りの議員や県の職員の顔をみればすぐにわかります。

人の顔をみながら、自説を鍛え上げることができます。ありがたいことです。



男性は、Uターンで地元に戻り、市内にあった酒屋の建物を利用して一からビール作りを始めました。製造時にできた麦のかすは地元の農家の肥料として利用され、その農家のコメも使ってビールを製造するとのことでした。これはまさに、小規模でも循環型農業の実践ですよね。

「前の仕事より今のクラフトビールの仕事の方が楽しい」と満面の笑みで語ってくれました。出店されていた他の店舗も、この数年で起業された方々でした。これからの街づくりを一緒に考えていきたいです。



個性的なお店がどんどんできてほしいです。

高田本町よるまるしえ



11月15日夕方、開催場所が事務所のすぐ近くでしたので行ってきました。まちかど交流館には、アクセサリーや飲食のお店が出店していました。

三和区でクラフトビールを製造販売する男性経営者に話を聞きました。

すみこさんは、認知症の母親、酔っぱらいの父親、ダウン症の姉とすみこさんの4人家族。とても大変で重たくなる話のほずなのに、その苦労をサラッとお笑い芸人らしく笑いに変えて話をしてくださいました。

最後に介護のあり方を問われたすみこさんは「私たちは、怪

福祉・介護・健康フェアに上越にしおかすみこトークショー

11月10日に高田城址公園オーレンプラザで「福祉・介護・健康フェア」が開催されました。

この会場では、お笑い芸人のにしおかすみこさん(ムチをもったSMの女王様スタイルでおなじみ)が「ポンコツ一家の生活ー私の家族と私も知りたい介護の話ー」と題したお話がありました。

我をしている人がいたら『○○さんがひざの怪我をしている』と見るのに、認知症だと『認知症の□□さん』、障害だと『ダウン症の△△さん』とまず先に病名や障害名が先行してその人を見ようとする。認知症や障害もそれぞれ違うのに、ひとくくりにしてその人を見ようとするのは違うと思う。怪我と同じく「□□さんは○○の症状がある認知症」とまずその『人』を見てほしい」と話しました。そして「認知症の人にも障害を持っている人も、今まで生きていた人生がみんな違う。一人一人が歩んできた過去も大事にした福祉であってほしい」とも。

ひとりひとりの人権を尊重した介護にするためにも、介護業界の人手不足、何とかしなければならぬと思います(この項は、秘書の荊木が担当しました)。

マミーズ・ネット20年

11月15日夜、マミーズ・ネット法人化20年の記念祝賀会に参加しました。

マミーズ・ネットは96年に育児サークルの連絡会として誕生しました。04年の法人化を経て、現在では地元の子育て家庭にとってはなくてはならない頼もしい存在になっています。

祝賀会では、多くのスタッフの方々や地元で活動する子育てサークルの方々とお話をすることができました。

子育て支援の輪をさらに広げるように私も頑張ります。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号
ダイヤパレス高田式番館2階
電話 025-546-7110
ファックス 025-546-7666
メール kengi-bahahideyuki@wind.ocn.ne.jp